

顧客に全力で寄り添い要望をかなえる 軽いフットワークが強みの塗装専門家



柴田塗装店

〒374-0073
群馬県館林市足次町 2043-3
URL <https://www.shibata-tosouten.com/>

Company data

代表

柴田 弘二

群馬県館林市出身。10代で塗装の世界へ足を踏み入れる。社会経験を積むべく一時は他の仕事に携わるも、21歳で塗装職人に復帰してからは一筋に歩む。8年ほど塗装会社で修業を積み、家族や親方の後押しを受けて独立。「柴田塗装店」を立ち上げた。

Personal data



矢部 住宅の塗装をメインに手がけていらっしゃるという「柴田塗装店」さん。柴田代表は、この道に入られてもう20年以上になるんだそうですね。

柴田 はい。10代で塗装の世界に足を踏み入れ、一度は他の職業を経験するべく離れてみたものの、やはりこの仕事が一番楽しいと感じられて。21歳で復帰して以降は、業界一筋で歩んできました。

矢部 独立されてからは、どのようにお仕事を受けてこられたのですか？

柴田 当初は大手ハウスメーカーの二次下請け業者としてスタートしたものの、コロナ禍で仕事が激減してしまって「このままではいけない」と思い切って自分で動いてみたところ、一括見積もりサイトを通じて個人のお客様からご依頼をいただけるようになったんです。

矢部 コロナ禍でも立ち止まることなく挑戦され続けたことが、新しい追い風を生んだんですね。

柴田 ええ。お客様と直接コミュニケーションが取れるようになったことで、さらに寄り添ったご提案も可能になりました。現在は関東一円を活動範囲に、一般住宅の外壁塗装・屋根塗装や、工場など大きな建物の塗装、機械の塗装など、幅広く対応しております。「いただいたご依頼は極力お断りしない」というのが、

私のポリシーなんです。

矢部 頼もしいお言葉です。お仕事をされるうえで、代表が大切にされていることがあれば教えてください。

柴田 私は「一期一会」という言葉を重んじています。お客様とはその場限りではなく、施工後も長い目でお付き合いをさせていただきたいと考えているんです。施工前には入念に打ち合わせをして、お客様からのご要望があればA4サイズで塗装の色味を再現してお見せすることもあります。そうして丁寧に進めていくからこそ、お客様にご満足いただけたら「ありがとう」と感謝の言葉をかけていただけた時には、大きなやりがいを感じるんですよ。

矢部 それだけ丁寧に対応してくださるなら、リピーターになってくれるお客さ

んもたくさんいそうですね！

柴田 ありがたいことに、過去に塗装のご依頼をしてくださったお客様から「隣の家もやってあげてほしい」とご連絡をいただけるケースもあり、本当に職人冥利に尽きます。仕事だけでなく、プライベートでお付き合いさせていただく方もいらっしゃるの、こうした地域密着の姿勢は大事にしたいですね。

矢部 柴田代表なら、必ずや地域の皆さんに愛される会社をつくり上げられることと思います。今後については？

柴田 お客様が、安心して電話をかけられるような、頼もしい会社になりたいです。私は地元の消防団にも入っていますし、地域貢献活動にも積極的に参加しつつ横のつながりを広げ、10年、20年と成長し続けられるよう努力します！

Guest Comment

矢部 美穂（タレント）

職人としてのこだわりと柔和な雰囲気とを併せ持つ柴田代表。人とのつながりを何より大切にされているからこそ、お客さんも「また頼みたい！」と思うのでしょうか。「フットワークの軽さとお客様目線の説明で、安心感を与えたい」と意気込む代表が、どこまで会社を大きくされるか、心から期待しています！

